

イクメンパパ ～子育て奮闘中～

Q1 子どもが生まれた時のパパの気持ちはどうでしたか？
長男長女とは年が離れた子なので、驚きと喜びの両方の感情がわいてきたのを今でも覚えています。

Q2 子育てにどのように関わっていますか？
乳児の頃はオムツ換え係でした。最近是一緒にお風呂に入ったり、休日に二人でドライブしたりすることが楽しみです。

Q3 子育てで難しいこと、大変なことはありますか？
子育てや子どもとの遊びは体力が必要で、子どもの成長と反比例して親の体力の衰えが辛いですが、毎日の筋トレでどうにか頑張っているところです。

Q4 パパからママ、娘へ
ママへ…………… 3人目の子育てをお互い助け合って楽しみましょうね。
なっちゃんへ… あなたが生まれて家族全員が大喜びしました。また、地域のおじいちゃんやおばあちゃん達の元気の源になりました。これからたくさんのお友だちができると思いますが、ひとつひとつの出会いを大切に、思いやりと感謝の心をもつ人になってくださいね。



岩本幸雄さん

笠戸島地区在住

子ども 女の子 小学2年生

こんにちは
下松市青少年育成協議会です

今回は参加団体の 「下松市スポーツ少年団」を紹介します。

下松市スポーツ少年団は、昭和41年(1966年)4月に設置されました。「ソフトボール・軟式野球・サッカー・バレーボール・ミニバスケットボール・柔道・空手・陸上・なぎなた」の9種目: 21単位団が所属しています。令和3年6月現在の団員数は、500名です。

青少年の健全育成を目的に、指導者・団員・単位団と地域が一体となって、週2~3回程度の練習で、礼儀・あいさつを大切に活動しています。一番の苦勞は団員の減少です。少子化が進み、各単位団ともチーム編成に苦慮している現状です。本部行事としては、4・5年生を対象に深浦公民館を主会場にしたデイキャンプの開催等の活動を行っています。

今年の4月22日(木)に山口県庁において、公益財団法人日本スポーツ協会の日本スポーツ少年団本部長より、下松市スポーツ少年団には「永年の活動」に対して、下松市スポーツ少年団本部長には「スポーツ少年団登録者として永年に渡りスポーツ少年団の育成、指導」に対して、表彰を受けました。

今後も、地域・指導者・団員・単位団が一体となって、“子どもたちに夢と笑顔とスポーツの楽しさを”を合言葉に活動を続けていきたいと思ひます。



皆様からの情報をお待ちしております。

下松市教育委員会 生涯学習振興課 星の子ネット
shakyou@city.kudamatsu.lg.jp (担当: 藤本・菊谷)

お電話・ファックス・メールでもどうぞ…

TEL.0833-45-1870

FAX. 0833-45-1865

募集

星の子ネット
ボランティアスタッフ

取材や情報誌編集など
私たちといっしょに
活動してみませんか?

詳しくは下松市教育委員会 生涯学習振興課 星の子ネットまでお気軽にお問い合わせください。

星の子ネット情報誌

ねえ

2021秋
Vol.41

くだまつの川

～探検 ふるさとの川～

下松には、切戸川・平田川・末武川・玉鶴川などがあります。

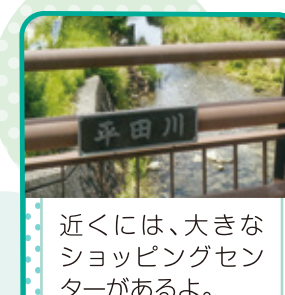
土地は、北東から南西に向けてしだいに低くなり、そのこうばいに沿って川が流れ、笠戸湾にそそいでいます。川下には二つの平野(末武平野・下松平野)があります。その特長を生かして、家やマンション、店やショッピングセンター、工場や公共施設などが建設されています。

川と人々のくらしは、とても近いところにあります。市内の小中学校の校歌の一節にも歌われ、民話や伝説にも登場します。川の名前の由来や災害対策等を調べてみるのもよいかもしれませんね。

どこの川?どこの河口?



平田川の河口だよ。



近くには、大きなショッピングセンターがあるよ。



上流にはダムがあるよ。



「玉鶴川」と書かれているよ。



上流には、ホタルの名所もあるよ。



山中川にかかる「万寿庵橋(まんじゅあんばし)」は、大変珍しい石橋で、大正5年10月に建設され、現在も使用されています。山中川は、この橋の下を通り、末武川に合流します。



昭和26年から5年間かけて建設されました。えん堤のそばには、ダム建設の発案者の木原六郎さんをたたえ、「温見ダム建設の父」と刻んだ記念碑も建っています。



鳴川には、高さ三間(約5m50cm)の滝があり、夕方にはその淵より霧が立ち昇ることから「夕霧淵(ゆうぎりぶち)」と呼ばれていました。

校歌にも歌われています

「あかき 夕やけ 見よ 切戸川」
(下松小学校)
「切戸の流れ さやかな里で」
(久保小学校)

「末武川に織るにしき」
(花岡小学校)
「果てしなき 末武川の」
(中村小学校)

「平田の川の 水清く」
(公集小学校)
「平田川 さゆらぐ辺り」
(末武中学校)

[小学校社会科副読本「わたしたちのきょうと 星ふるまち 下松」の地図を改編]

切戸川 楽しいスポットに親子で出かけてみよう。

切戸川は下松市の中央を流れる川で、河口付近の地名から切戸川とよばれ、切山川・山田川・小野(この)川・吉原川などの支流があります。鯉が放流され、下松市市民体育館横は桜の名所で、毎年ライトアップされます。また、毎年夏休みには、上流・下流で切戸川の自然観察会が行われます。きっと、新しい発見があるよ。さがしてみよう。



1 ハヤがおよぐスポット

久保小学校東側の切山川と山田川が出合う所では、川に降りられるようになっていて、ハヤ・どんこ・エビ・ヤゴなど色々な生き物にであえます。



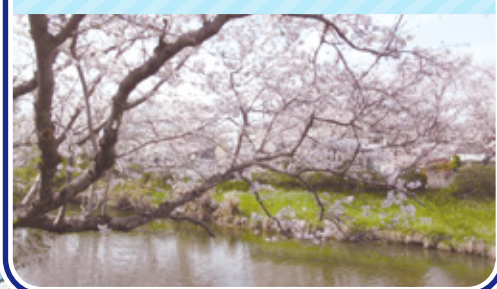
2 ホタルのひかりスポット

久保小学校裏側の山田川はホタル(5月から6月にかけて)で有名です。久保市ホタルの会が通路灯などの整備をして待っていますよ。



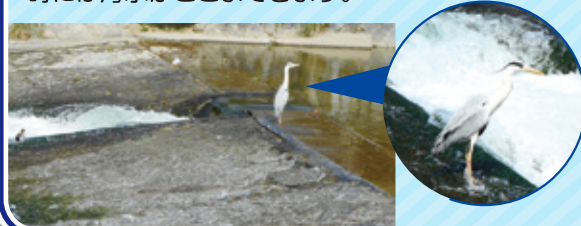
3 下松市で一番のさくらスポット

下松市市民体育館横の桜並木はシーズンにはライトアップされ、花見で賑わいます。



4 サギにあうスポット

中市通りの切戸橋付近には最後の堰(せき)があり、カモが羽を休め、サギは小魚をねらっています。満潮時には海水がここまできます。



4 コイにであえるスポット

切戸橋の横の川辺に立つと、鯉がエサをもらおうと寄って来ます。切戸川では、色々な所で鯉が見られます。



4 痕跡(こんせき)発見スポット

切戸橋の銘板を見てみると「きれとはし」と書いてあります。昔は「きれと川」でした。新たな発見?



末武川 民話・伝説や歴史のスポットに親子で出かけてみよう。

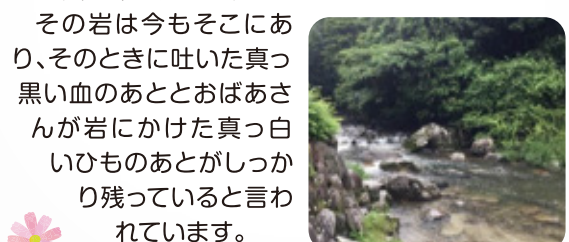
末武川は下松市の西側を流れる川で、山中川・鳴川などの支流があり、上流には二つのダム(末武川ダム・温見ダム)があります。いろいろな民話・伝説も残っているので、訪ねてみてはいかがでしょうか。



米川「滝ノ口」にあるよ

1 やまんばあんの岩

昔、ものすごい力持ちのおばあさんが、ある日とてつもない大きな石にひもをかけて、背中におぶって山から下りてきました。ところが足を踏みそこない、おぶっていた岩とともに川の中に落ちて死んでしまいました。



100年たってもだいじょうぶ!

3 組石堤塘(くみいしでいとう)

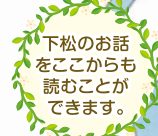
明治35年7月、末武川が氾濫し、たくさんの家や人に被害がありました。そこでこれ以上被害が出ないように長さ100m、幅4mに及ぶ石でできた堤塘が作られました。100年以上経っても洪水対策に大きな威力を発揮しています。※組石堤塘とは、大雨時、水があふれないように、石で組んだ土手(堤防)のことです。



下松市の民話・伝説と民謡



[下松市 郷土資料・文化遺産 デジタルアーカイブにつな갑니다。]



下松のお話をここからも読むことができます。

米泉湖の水が少なくなったら見えるよ

2 白雲の滝(しらくものたき) 五郎淵(ごろんぶち)、くも淵

昔、五郎という働き者の木こりがいました。ある日、働き疲れて、涼しい小さな滝のそばで眠ってしまいました。そこに、いつの間にかクモがやってきて白い糸を出し、五郎の頭から足までぐるぐる巻きにしてしまったそうです。もがいてももがいても動くこともできず、とうとう滝の中に落ちて死んでしまいました。

それから、この滝のことを「しらくもの滝」、淵のことを「ごろん淵」、「くも淵」と言うようになったそうです。この滝は、ダム建設の時に湖の底に沈んでしまいました。

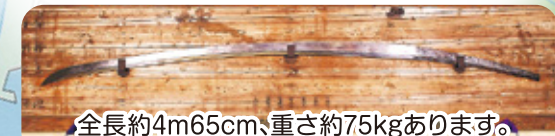


[下松市 郷土資料・文化遺産 デジタルアーカイブより]

日本一大きな日本刀だって!

4 破邪の御太刀(はじゃのおんたち)

江戸時代末にペリーが浦賀(神奈川県)に来航して以来、日本は欧米列強の波に呑み込まれないように身構えていました。そのような中、安政6年(1859年)「邪気を祓い平和な社会を築こう」と花岡八幡宮氏子たちが願いを込めて奉納。製作には1トンの砂鉄が使われ、焼き入れの際に末武川の和田橋辺りをせき止めて、作業したと伝えられています。〔「破邪の御太刀」は、市の文化財に指定され、花岡八幡宮の宝物殿に保管されています。〕



全長約4m65cm、重さ約75kgあります。

[下松市 郷土資料・文化遺産 デジタルアーカイブより]